

< 競技方法 >

- 1 競技会場 犀川第2緑地 野球グラウンド
- 2 参加チーム 高学年の部（フリー）、新人戦の部（1，2年生のみ）
合計16チーム（予定）
- 3 参加資格 ① 中学生で構成されたチーム（シニアリーグ公式大会登録者は登録することが出来ない。）、又は事務局が特に認めたチーム。
② 1チーム監督を含め21名以内とし、別に補助員を2名登録する（監督・補助員は成人とする。）。
- 4 競技方法 ① トーナメント方式とする。（試合時間1時間30分）
② 試合は7回戦とし、5回7点差の場合はコールドゲームとする。
また、1時間25分を越えて新しいイニングに入らないものとする。
③ 前項②により試合終了の時点で点差が無い場合は、特別ルールで次打者から攻撃し、その前の打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者として一死満塁にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、2イニングを限度とし、同点により決着が付かない場合は、9人の抽選により決定する。
④ 雨などで試合続行が不可能な場合は、4回終了時点で試合成立したものとする。但し、4回終了していない時はそのまま続行とし、続行が不可能な状況においては大会本部に一任とする。
- 5 組合せ 実行委員会の責任抽選とする。
- 6 その他 ① 選手の二重申込みは、両チームとも出場停止とする。
② ベンチの入場者は登録された監督・選手のほか代表者2名とする。
③ ベンチは組合せの若い番号が1塁側とする。
④ 両チームは試合開始予定時刻15分前に会場に集合しメンバー表を交換する。
⑤ 監督が抗議または選手に指示する場合、グラウンドに出てもよい（抗議時間は3分以内とする。）。
⑥ 投本間18.44m、塁間27.43m。
⑦ ヘルメット・レガース・プロテクター・マスク・バットは全日本軟式野球連盟公認のものを使用し、打者・走者・次打者・ベースコーチ（2人）はヘルメットを、キャッチャーはレガース・プロテクター・ヘルメット・マスクを着用すること。
⑧ 雷が発生した場合は、主審、グラウンド責任チーム、本部の判断により試合を中断する。
⑨ 第一日目の勝者チームは、第二日目の閉会式の際、プラカードを使用するので持参する。

- ⑩ グラウンド内外を問わず、万が一病気負傷などがあった場合、主催者はその責任を負わない。よって、スポーツ損害共済（保険）等には各チームで責任持って加入するものとする。
- ⑪ 各チームの補助員2名（保護者）は、試合終了時のグラウンド整備を行う。無断欠席の場合はそのチームを失格とする（補助員の大会当日変更は可能）。
- ⑫ 雨天の場合の試合続行可否については、当日午前5時00分の時点で決定する（緊急連絡先090-1098-0587 松浦まで）。
- ⑬ 各チームの塁審及びボールボーイは、自チームの前の試合または後の試合の塁審・ボールボーイを行ってください。
- ⑭ 参加チームの中で、グラウンド責任チームを予めお願い致しますが、他のチームも積極的に協力してください。
- ⑮ 監督会議は、犀川第2緑地 野球Bグラウンド本部前で、7月22日（土）午前7時40分から行う。
- ⑯ 2日目の勝ち上がりチームの責任者は、大会1日目終了後、大会本部にて2日目のスケジュール確認を実施しますので、必ず集合してください。（犀川第2Bグラウンド）

各グラウンドの審判割り

1日目

(1) 1グラウンド 4チームとした場合（トナメント方式）

- ・ 第1試合⇒第2試合の両チームから各2名。
- ・ 第2試合⇒第1試合の両チームから各2名。
- ・ 第3試合⇒第1第2試合の勝者チームから各2名。
- ・ 第4試合⇒第1・2試合の敗者チームから各2名。

※参加チーム数によっては変更の場合あり。（詳細はトナメント表参照）

(2) 1グラウンド 3チームとした場合（総当たり方式）

- ・ 試合の無いチームから4名

（審判が不足する場合は、試合実施チームに協力を依頼してください。）

2日目

前記1と同様とする。

（ただし、高学年の部については、南部球友クラブで主審のみ対応する。）

なお、ボールボーイ、得点の記入等は、ブロック単位で試合のない両チームから2名の協力に対応願います。

グラウンド当番

- ・ 組み合わせ決定後、大会実行委委員会から競技会場に近い参加校（チーム）に依頼させていただきますので、ご協力をお願い致します。
出場チームは、時間、マナー等を遵守し、グラウンド責任チームにご協力の上、試合進行をお願いします。

参加費

- ・ 第一日目（7月22日（土））の午前7時30分から、大会本部（犀川第二Bグラウンド）で参加費（1チーム3,000円）を集めますので、よろしくお願い致します。